

先生は栃木工高生

大宮南小 プログラミング学ぶ



児童にプログラミングを指導する栃木工業高の生徒（左）

【栃木】栃木工業高情報技術科の生徒が小中学生を対象に行う「プログラミング

出前講座」が27日、大宮

南小で行われ、5、6年生

15人が初めてパソコンのプログラミングを体験した。

講座では生徒が商品化した教育用こどもパソコン

「Sky Berry J AM（スカイベリージャム）」を使用。ものづくりとプログラミングの楽しさを児童に広めようと、5月から市内各地で生徒が主体の出前講座を展開している。

この日は生徒5人が先生となり、発光ダイオード（LED）を自由に点灯させたり点滅させたりする基本的なプログラミング操作を児童に教えた。初めての体験に児童は夢中になって作業に取り組んでいた。

5年竹川璃香さん（11）

は「一回覚えると後は簡単だった。本物のパソコンでもやってみたい」と楽しんでいた。

（杉町ハナ）